

HIKARIGAKA presents! 様々な装丁を飾る、カプカプズの絵



マイベスな線の冒険
渡邉祐彦

のんびる
—11/12—
No.127

親が
しんどく
なったら...



にぎやかな愛のゆえ
高橋智美



キャンパスに恋しみを
野元好枝

様々な装丁と出会いが重なって、カプカプズの愉快な作品たちを色々な媒体を通じてお裾分けできるようになりました。今年度新たにできたご縁は、生協パルシステム発行の「のんびる」という雑誌。3号に渡ってカプカプズの作品が表紙を飾ると共に見開き1頁で作家紹介もして頂きました。「はじめる！ つながる 社会が変わる」が合言葉の本誌、内容もとても充実しています。組合員ではない方も注文できますので是非お手にとってみてください！

KAWAWA presents! 「みずきカントクの刺繍シリーズ」



カプカプ川和と立ち上げメンバーのひとり。するどい視線でみんなに無言で指令を出し、最近じゃ「監督！」とまで呼ばれるみずきさん。自由に動く左手とスタッフとの息を合わせて刺繍を進めていきます。下描き、糸の色選び、モール玉の配置などはみずきカントクのセンス。迷わずズバッと決めます。集中して3日ほど、“もうやらない”と手をふると完成の合図。みずきカントクの刺繍が、オトナ・カワイイポーチ（1800円）に仕上がりました！

TAKEYAMA presents! タケヤマTシャツコレクション（1枚 2,000円）



唯一無二のアーティストがつくった、唯一無二のTシャツ。是非、作家に会いに来て下さい！

やまなし

カプカプ川和
横浜市都筑区川和町1331-1
045-938-5801

カプカプ竹山
横浜市緑区竹山3-1-8, 3102-203
045-934-6668

カプカプひかりが丘
横浜市旭区上白根町891-18-4-103
045-953-6666

応援団、募集チュー！



題字：キヤマシュンスケ、「ネズミ」イラスト：トミハラタカトシ

FHSネットカプカプ 新会員募集と継続加入のお願い！！

「やまなし」は、NPO法人カプカプの後援会「FHSネットカプカプ」の通信です。カプカプの活動を支援する仲間を広く募集しています。

- 年会費 1,000円以上任意の金額
- 振込先 ゆうちょ銀行の振替貯金（旧郵便振替）
00290-2-36249
- 所在地 〒241-0001 横浜市旭区上白根町891-18-4-103
カプカプ内（TEL/Fax 045-953-6666）
- HP kapukapu.org
- メール kouenkai@kapukapu.org



2019年度のカプカブは、沢山の応援団と、お客様と、笑顔と、カプカプーズのがんばりふんばりと、スタッフの思いと、ご縁とに支えられて、豊かな一年だったなあ～、と思ひ返します。でもその始まりは、かけがえのない仲間を失う、という深い悲しみでした。もう取り戻せないという絶望。思いあがっていたという後悔。同時に、失っても、なくならないもの。弱いからこそ、集い合い、励まし合って、一緒に新しい時間をつくってゆく、その心づよさに励まされ続けた一年でした。日揮社会福祉財団様からの助成金のお陰でリニューアルオープンさせることができた「工房カプカブ」も、またひとつ、ひかりが丘団地商店街の新しい居場所として開かれました。工房開店10周年と喫茶開店21周年を祝う毎年恒例のお祭りは、「カプカブ・カップ・カブキ祭り」と題され、ご縁のあるひとたちが集って一緒に祝う、とても愉快的祝祭の宴でした。カプカブの3つのワークショップを拓いてくださるミロコマチコさん、新井英夫さん、板坂記代子さん、ササマユウコさん、アサダワタルさんとの時間は、カプカプーズの「やりたい!」をいつも後押ししてくれ、まだ見ぬ境地へと踏み出す勇気を与えてくれます。一步一步と、踏み出しながら、踏みしめながら、様々な波乱万丈で豊かな人生が集うカプカブに、いつか、遊びに来てください。(鈴木真帆)



カプカブ川和が移転します！

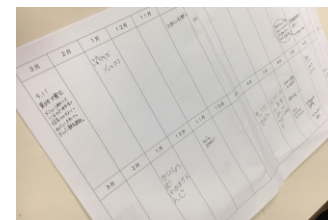
その話を始めて聞いたのは2016年の7月でした。「移転するの?」と他の施設の職員さんから聞かれたのです。なんですかその話は、、、というところから地元の不動産屋に話を聞きに行ったり、すでに立ち上がっていた「区画整理準備組合」という所の人が挨拶に来たりして、ようやく「川和町駅周辺西地区土地区画整理事業」という区画整理事業が進んでいるのを知ったのです。横浜市は「横浜市中期計画：2014～17」の中で「川和町駅前立地の特性を生かした～新たなまちづくりを進める」と位置付けていたそうで、ということはそのずっと前から川和町は区画整理の計画があったのでしょう。私たちはそうと知らずにそのほぼ中心に飛び込んできたのでした。ピカピカの新しい建物を建ててもらってから6年弱。まだまだこれからという所での移転の話。いつ頃になるのか、どこに移る事になるのか、駅に近い通いやすさが変わってしまうのか。短い期間とはいえ私たちが積み重ね作ってきたカプカブ川和という「場所」をどのように続けていく事になるのか。様々な不安がよぎりました。。

それから3年半ほど経ったいま、私たちの移転が(ようやく)具体的になりました。移転時期は今年の年末～来年初めごろの予定です。大家さんや地元の方のご理解もあり、駅からはさほど離れることなく、また実際の引っ越しに伴うであろう休業も最小限になるように進めていける見通しです。

偶然と言えば偶然なのですが、開所から10周年を迎える2020年度に区画整理事業による移転が重なる事になりました。考えようによっては、他にない機会でもあります。移転を踏み台に“2度とない1年”となるようメンバースタッフ共々元気にやっていきたいと思ひます。10年目を迎えるカプカブ川和にご注目下さい。(いしい)



そして、10周年イベントに向けて



10周年イベントではカプカブ川和の歴史を年表にします。そこで10年の歴史の振りかえり作業をしています。それにしてもみんなの記憶力はすさまじい…書類で残されている記録なんか見る気もなくなります。みんなから出される思い出はハプニングや怪我・病気、失敗などばかり。当時は心配したり、涙を流したり、怒ったり、苦く痛い経験でしたが年月がたつと「そんなこともあったよね」「あの時は若かったもんね」となぜかほっこり笑って話せる愛おしい思い出に変わっています。きっとこれからも楽しいことも辛いこともたくさんあるでしょう。何年かたって振り返ったときみんなでもた笑えるように、みんなで協力してカプカブ川和を盛り上げていこうと思ひます!(にいら)